

12

### 滋賀県教育委員会の再編に対する基本姿勢を教えて

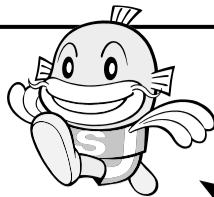
学校活力の維持向上

教育内容の質的充実

## 魅力と活力ある県立高等学校づくり

ほとんどの都道府県では、既に高等学校の再編（学科改編・統合等）が進んでいます

「魅力と活力ある学校」とは、生徒が、自らの興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目を学習する中で、将来の生活や職業に役立つ知識や技能を積極的に学ぶ姿勢を培ったり、学校行事や部活動などの取り組みを活発に行うことのできる学校であると考えています。

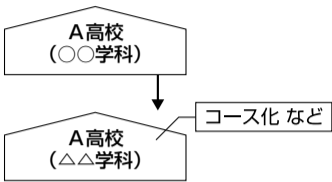


13

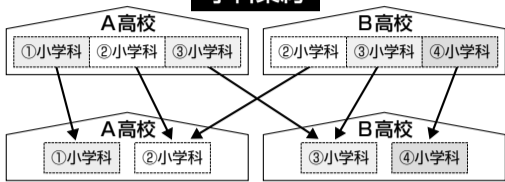
### 次に、再編のイメージを教えて

<例>

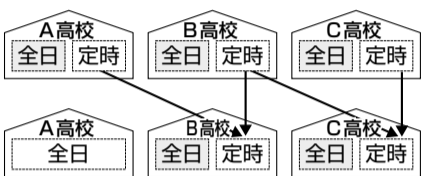
#### 学科改編



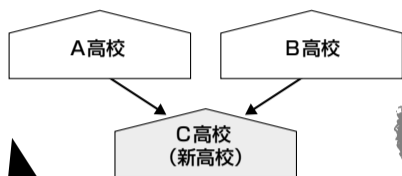
#### 学科集約



#### 課程集約



#### 学校統合

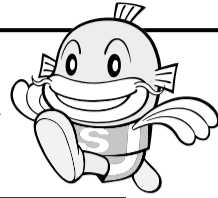


A高校に既に設置してある学科を、現在の社会に適合した特色ある学科またはコースへと改編することを「学科改編」と表現しています。

より専門性を向上させるため、既存の施設や設備の効率的な活用や集中的な投資を行うことができるよう、各学校の教育内容の特色を生かしつつ、A高校とB高校の学校間で小学科の集約を行うことを「学科集約」と表現しています。

多様な学びに対応した活力ある教育を展開するため、A・B・C高校に設置されている定時制課程を、例えば2校に集約することを「課程集約」と表現しています。

既存のA高校とB高校を統合し、魅力と活力ある特色豊かな新しい高校へと改編することを「学校統合」と表現しています。



14

### 再編の具体的な考え方を教えて

#### 特色ある学校づくり

- 生徒の多様な学習ニーズや地域・産業界の要請などに応え、多様な学びの場を提供するため、特色ある学校や学科・コースを設置することにより、教育内容の充実を図ります。

#### バランスのよい学校配置

- 全県的な視野で、学校・学科の配置や、普通科・専門学科および総合学科の構成バランスに配慮しつつ、近接する同質系の学校・学科を再編するなど、バランスのよい学校配置に努めます。

#### 活力ある学校づくり

- 学科の特性や地理的条件などを考慮するとともに、生徒数の推移や志望状況等に配慮しながら、1学年あたり概ね6学級から8学級を標準とします。
- 学校規模の縮小が進む地域においては、地域性などを考慮しながらも、周辺校との再編により、学校活力の向上を図ります。

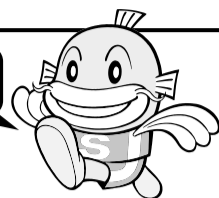
#### 職業系専門学科・総合学科の再構成

- 施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより、専門性を維持向上できるように、職業系専門学科の集約化を図ります。
- 各学校の特色を生かしつつ、学校の統合や学校間での小学科の集約、学科の再編を実施します。

#### 定時制課程の見直し

- 様々な学習動機や学習歴を持つ生徒が増加傾向にあることを踏まえつつ、現在の定員未充足の状況を改善し、集団の中で活力ある学びが可能となる方向での再編を行います。
- 学び直しの役割等が重視されつつある状況を踏まえ、定時制課程における職業学科の必要性を一定見直します。

こうした5つの基本的な考え方をもとに具体的な再編内容を検討しています。



15

### 県民の皆さんからの意見にはどんなものがあるの？

#### 県民意見聴取会（大津市・米原市）やHPなどでいただいている主なご意見

- 交通の利便性が悪い地域から高校がなくなると、通学費も含め保護者や生徒の負担が大きくなる。
- 生徒数が減少する中で、再編の必要性は一定理解している。地域に高校があることによって、地域・住民は力をもらっている。再編にあたっては、十分に地域性を考慮していただきたい。
- 小さな規模の学校にもメリットはある。友人や教員一人ひとりの顔が見える密接な人間関係の構築が可能であり、また、教員が生徒一人ひとりにきめ細かな指導を行うことができるのでは。
- 今後10年くらいは、急速に生徒数は減少しないのではないか。平均学級数も全国平均を上回っているため、10年後なら理解できるが、なぜ今、急いで再編をしようとしているのか。
- 県民との議論は始まったばかり。まだまだ周知されておらず、今後も、こうした説明の機会を持つこと。
- 周知を徹底し県民等から意見を聴いた上で再編を進める必要がある。拙速に結論を出してはいけない。
- 県の財政状況を理由にするのではなく、次代を担う子どもたちの将来を見据えた再編でなければならない。
- 再編にあたっては、子どもたちが学びたい、学んでよかったと思う活力ある高校をつくっていただきたい。
- 魅力と活力ある県立高等学校づくりのためには、従来にない新しいタイプの高校を創造していくことも発想のひとつではないか。
- 定時制高校には、従来からの勤労生徒や経済的に困難な生徒に加え、最近では、中学校時に不登校であった生徒、外国籍の生徒、全日制高校からの転・編入の生徒など多様な生徒の受け皿の役割を担っていることから、1学級の定員を少なくしてほしい。
- 北部の定時制高校については、地域性を考慮していただきたい。
- 選択科目数の問題については、学校の規模の問題ではなく、大学入試に伴う制約の問題である。大学入試で制限がなければいろいろな科目が用意できる。
- 再編（統廃合）の必要はない。反対。現行の学校数を減らさないでほしい。
- 生徒数の減少傾向・県の厳しい財政状況等から再編は必要・やむを得ない。

本年8月には県民の皆さんを対象とした意見聴取会を大津市と米原市で開催しました。また、ホームページ等を通じてのご意見をいただいています。



16

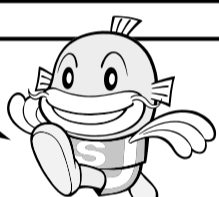
### 再編に向けた今後の予定を教えて

## 県立高等学校の再編計画を平成23年度に策定します。

平成21年3月に県立学校のあり方検討委員会より「報告」を、平成22年9月に滋賀県産業教育審議会より「答申」をいただき、県立高等学校の再編に向けた検討を進めてまいりました。

保護者の皆さんをはじめ、県民の皆さんからご意見をいただき、具体的な再編内容を検討したいと考えております。

その上で、再編計画（原案）をお示しし、県民政策コメントや説明会等を通じてさらにご意見を聴く機会を設けた上で、再編計画を策定する予定です。



今回の教育しが12月特別号では、なぜ今、再編が必要なのか、その背景や再編に対する基本的な考え方について特集いたしました。皆さんのご意見をお聴きした上で、滋賀の未来を担う子どもたちの視点に立った県立高等学校の再編を検討してまいりたいと考えておりますので、ご意見をお寄せください。

平成22年11月に県下7地域で保護者の方を対象に開催した「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けたご意見を聴く会」の説明資料をもとに、再編案を行い、保護者向け情報誌「教育しが」12月特別号として取りまとめました。「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けた意見を聴く会」の説明資料については、県教育委員会ホームページに掲載しています。☎<http://www.pref.shiga.jp/edu/sogo/saihenkeikaku.html>

### 教育情報を発信しています!!

電子版 教育しが 2ヶ月に一回更新しています!

<http://www.pref.shiga.jp/edu/pr/>

#### 編集・発行

滋賀県教育委員会事務局教育総務課  
〒520-8577 大津市京町四丁目1-1  
☎077-528-4513 ☎077-528-4950  
✉edu@pref.shiga.lg.jp



滋賀県教育委員会ホームページ  
<http://www.pref.shiga.jp/edu/>



### ~魅力と活力ある学校づくり~に向けたご意見を募集します

教育しが12月特別号をご覧になって、魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けたご意見がございましたら、下記により、お寄せください。なお、いただきましたご意見につきましては、個別に回答しませんのでご了承ください。

#### 提出方法

電子メール、FAX、郵送にてご提出ください。メ切は、平成23年1月31日(月)です。なお、お電話による受付は行っておりません。

※いただいたご意見については、とりまとめの上、ホームページ等で公表する場合があります。

※いただいた個人情報は、目的以外に利用することはありません。ご意見をホームページ等で公表する場合にも個人情報は公表しません。

#### 提出先

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1  
滋賀県教育委員会事務局 教育総務課 教育企画室  
☎077-528-4513 ☎077-528-4950 ✉saihen@pref.shiga.lg.jp

